

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 20-10】 2021年4月1日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

「75歳以上の医療費2倍化法案」廃案に追い込もう！！

75歳以上の医療費窓口負担の2倍化を含めた「健康保険法等『改正』法案」の国会審議が始まります。神奈川で11月から始めた署名は3万3千筆をこえ、12人の紹介議員にお渡しし、国会に提出しています。

3月25日、「75歳以上の医療費2割化反対実行委員会」は、伊勢佐木町モールで宣伝行動を実施し、保険医協会、年金者組合などから20人が参加しました。保険医協会



の開業医が、次々とマイクをとって訴えると、「この先も死ぬまで2割払わなければならないなんてとんでもない」と署名してくれました。しかし、これからというときに雨がひどくなり、撤収を余儀なくされました。

神奈川県で新たに2割負担になる方は約30%、3割負担の人を含めれば40%を超える人が2割負担以上となります。こんな悪法は許せません。なんとしても、廃案に追い込もうではありませんか。実行委員会では、宣伝・署名をさらに広げようと呼びかけています。

年金者組合は、4月15日（木）に全県での宣伝行動を呼びかけ、同日、伊勢佐木町モールでの宣伝行動も行います。神奈川国会行動は、4月21日（水）、4月22日（木）には全国の中央行動も予定されています。

署名をさらに広げ、国会に提出できるよう県社保協まで集約した署名をお送りください。

葉山町議会

「2割負担の見直しを求める意見書」可決！！

3月12日、葉山町議会は、年金者組合逗子葉山支部が提出した陳情書を採択し、「後期高齢者医療保険の窓口負担2割化の導入及び年収基準の見直しを求める意見書」を全会一致で可決しました。

意見書は、「現在、世界は新型コロナウイルス感染症の渦中にあり、その影響は高齢者にも及んでいる。感染を恐れて医療機関の受診をためらい、持病の悪化、重症化が懸念される中、医療費窓口負担2割化はさらなる受診抑制を招きかねない。コロナ渦の影響が数年に及ぶと予測される中では、生活に直接影響を及ぼす制度変更は控えるべきである」とし、さらに「年収200万円以上を窓口負担2割化の基準としているが、消費税が増税された中、基準値に近い世帯の家計への負担は大きなものとする。よって、後期高齢者医療保険の窓口負担の2割化は、結論を急ぐことなく、コロナ渦による影響を十分勘案し、導入時期の延期と対象者の基準について再検討するよう、強く要望する」としています。このように、導入時期の延期と対象者の基準について、強く再検討を求めています。

厚木市と清川村で「補聴器」助成スタート

年金者組合は、「二大陳情運動」として「加齢性難聴補聴器の助成」を、神奈川県・全県の市町村議会に陳情提出しました。その結果、大和市、座間市、葉山町、中井町、松田町（趣旨採択）の5市町で陳情が採択されました。厚木市では、補聴器の購入費のうち1万円助成が決まっており、清川村も7月から厚木市と同様の助成制度が実施されます。不採択だった市町村議会でも議員の関心は高く、助成が必要との論議がされています。

「いのち署名」陳情、6市町で採択！！

医労連などがすすめる「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名」（略称：いのち署名）の陳情については、逗子市、秦野市、伊勢原市、座間市、葉山町、二宮町の6市町で採択されました。

「75 歳以上の医療費 2 割化アンケート結果の概要」 記者発表

神奈川県民医連は3月26日、県庁の県政記者クラブにて「75 歳以上高齢者の医療費 2 割化に関するアンケート結果の概要」について記者発表しました。日本高齢期運動連絡会が作成したアンケートを各法人にご協力いただき神奈川県民医連内での回答結果を集計したものです。

1 割負担から 2 割負担に変わったら「通院回数を減らす」27 件(15%)、「受診科の数を減らす」15 件(8%)、「薬の飲み方を自分で調整する」10 件(5%)など、合計すると 52 件(28%)の方が何らかの受診抑制を考えていることが分かりました。また「今まで通り受診する」と答えた方は 128 件(71%)あり病気の治療は止められないという高齢者の思いが表れています。

しかし、そう答えた方でも、自由記述欄で「光熱費の節約と食事回数を減らすように心がけなければ」と回答しています。このことから自己負担が 2 割化する影響は医療費のみに留まらず高齢者の生活にも大きく影響することを物語っています。それは、年金のみで生活している方が 180 件(84%)、年金+仕事の方が 24 件(11%)いることでも生活に影響することが想定できます。自由記述欄には、「年金だけでは足りなく、預金を切り崩している。それも限界にきている」など厳しい生活実態が切々と述べられています。

医療費負担の 2 割化で高齢者の生活破壊が進行するのではと危惧するところです。厚労省の発表では全国で 370 万人が 2 割負担の対象になります。神奈川県で見ると対象は 33 万人になり、被保険者に占める割合は 28.4%と全国で一番高い割合を示しました。また最近、発表された「神奈川県後期高齢者医療広域連合による推計値(令和 3 年 1 月 22 日時点)」によると 2 割負担の対象者は 34.7 万人で、被保険者に占める割合は 29.8%と高いことが判明しています。今回のアンケート結果に現れた 75 歳以上高齢者の不安に「自助・共助」では応えることはできません。75 歳以上医療費自己負担 2 割化反対署名、宣伝・要請行動、など引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

＜神奈川県民医連 社保・平和 NEWS より転載＞

神奈川県民医連



「広域連合議会」2割化中止・撤回を求める陳情を不採択に！！

3月29日に、藤沢市で県後期高齢者医療広域連合議会が開催され、県社保協からの参加を含めて 10 人ほどが傍聴しました。年金者組合が、「後期高齢者医療保険の窓口負担の 2 割化の中止・撤回を求める意見書提出」の陳情を提出しました。日本共産党の北谷まり議員（横浜市）が陳情に賛同の発言をしましたが、他の議員は、「不採択」に同意しました（議員定数 20 人）。

陳情の扱いを確認する議会運営委員会で、広域連合事務局長は、「①現役世代の交付金が急増し、全世代型社会保障検討会議で高齢者のみなさんに可能な負担をお願いする見直しがあったもの。

②実施は令和 4 年 10 月から翌 3 月とされており、十分な周知期間とシステム回収に対応する財政補填を国に求めている。③全国広域連合は、暮らしに支障がないよう令和 2 年 11 月に国に意見書を提出した。」「よって不採択とすべき」と見解表明しました。

議会運営委員会では、これまで委員の発言はほとんどありませんでしたが、今回は、3 人の委員から発言がありましたが、いずれも「不採択」とすべきというものでした。「制度持続には可能な負担はやむを得ない、当面 3 年間、月 3000 円までの負担増に抑える措置もされている。ただし実施を遅らせるよう県連合会から国に要望してもらいたい。」「全世代型社会保障検討会議では、可能な高齢者は支える側になってもらうとしている。これによる受診抑制がないよう対策していく必要がある。」「少子高齢化のなかで、労働力人口が減少していくことになり、負担増はやむを得ない。委員の発言は、陳情の内容について一定の理解を示しつつも、制度の持続可能性、世代間の負担の公平の立場に立っており、なによりも当事者の負担の重さについての言及がありません。また、負担増については激変緩和措置をとるからということが理由とされていますが、本人が毎月申告しなければならないということの実情も述べられていません。このように、陳情を「不採択」する理由は説得力を持ちません。



介護保険料、寒川町・大磯町で引き下げ、5市町で据え置き！！

各市町村の3月議会が終了し、すべての自治体で介護保険第8期事業計画（2021～2023年度）と介護保険料が決定しました。県社保協として各市町村に問い合わせして、全市町村の4月以降の介護保険料（基準月額）を集約しました。その結果、神奈川県下33市町村の単純平均で217円（4.1%）の引き上げとなり、平均月額は5,501円となりました。そのうち、寒川町が40円引き下げ、大磯町が300円引き下げ、小田原市、逗子市、秦野市、大井町、松田町の5市町が、据え置きとしました。

各市町村では、保険料の引き上げ圧縮などのために、①準備基金の取り崩し⇒ほぼ全市町村で実施、②保険料所得区分の多段階化（高所得者の段階を増やす）⇒川崎市、平塚市、藤沢市、葉山町、二宮町で実施、③所得限度額の引き上げ⇒川崎市、藤沢市、伊勢原市、葉山町、二宮町、真鶴町で実施しました。

自治体名		保険料（基準額）月額（円）				所得区分段階		所得限度額（万円）	
		第8期 2021～23 年度	第7期 との差 額	第7期 2018～20 年度	第6期 2015～17 年度	第8期	第7期	第8期	第7期
1	横浜市	6,500	300	6,200	5,990	16	16	2,000	2,000
2	川崎市	6,315	490	5,825	5,540	16	14	2,000	1,000
3	横須賀市	5,800	300	5,500	5,200	17	17	1,500	1,500
4	平塚市	5,513	236	5,277	4,820	17	14	1,000	1,000
5	鎌倉市	5,500	36	5,464	5,170	16	16	2,500	2,500
6	藤沢市	5,500	800	4,700	4,700	14	12	2,000	1,000
7	小田原市	5,060	0	5,060	5,060	13	13	1,000	1,000
8	茅ヶ崎市	4,980	100	4,880	4,420	11	11	800	800
9	逗子市	5,810	0	5,810	5,710	13	13	1,500	1,500
10	相模原市	6,000	200	5,800	5,375	11	11	1,000	1,000
11	三浦市	5,885	169	5,716	5,716	13	13	700	700
12	秦野市	5,390	0	5,390	5,200	13	13	1,000	1,000
13	厚木市	5,453	68	5,385	4,950	16	16	2,000	2,000
14	大和市	5,835	706	5,129	4,960	16	16	2,500	2,500
15	伊勢原市	5,500	300	5,200	5,450	12	12	1,000	800
16	海老名市	5,180	60	5,120	4,390	12	12	1,000	1,000
17	座間市	5,500	288	5,212	4,930	16	16	1,000	1,000
18	南足柄市	5,075	375	4,700	4,558	11	11	800	800
19	葉山町	4,900	100	4,800	4,800	16	14	2,000	1,500
20	寒川町	5,100	-40	5,140	4,150	10	10	800	800
21	綾瀬市	5,208	350	4,858	3,894	16	16	1,000	1,000
22	大磯町	5,400	-300	5,700	5,500	13	13	800	800
23	二宮町	4,700	250	4,450	4,450	13	10	1,000	400
24	中井町	5,739	356	5,383	4,950	11	11	1,000	1,000
25	大井町	4,800	0	4,800	4,300	10	10	400	400
26	松田町	5,100	0	5,100	4,600	12	12	900	900
27	山北町	5,580	50	5,530	4,950	12	12	1,000	1,000
28	開成町	5,400	40	5,360	5,150	13	13	800	800
29	箱根町	6,200	300	5,900	5,100	12	12	800	800
30	真鶴町	5,800	100	5,700	5,300	10	10	420	400
31	湯河原町	5,500	800	4,700	4,500	10	10	600	600
32	愛川町	5,400	200	5,200	5,165	13	13	1,500	1,500
33	清川村	5,895	528	5,367	5,232	13	13	1,000	1,000
単純平均		5,501	217	5,284	4,975	13.2	12.9	1,192	1,091

4.24 かながわ社保学校 2021 への参加促進を！！

新型コロナウイルスの感染が拡大するも、日本の経済が翻弄され、私たちの生活はさまざまな制約を余儀なくされ、この国の医療と社会保障制度の脆弱性も実感することとなりました。安倍政権から菅政権に変わりました。菅首相は「自助、共助、公助。そして「絆。」と、自己責任を強調します。かながわ社会保障学校 2021 は、新進気鋭の村田隆史さんに「今日の社会保障改革の現状と課題～対立から共同へ～」と題する学習講演をお願いし、自己責任論を斬り、私たちの運動の展望を語っていただきます。

村田隆史さんはリモートでお話しいただきます。会場参加と ZOOM 視聴を併用します。下のチラシと参加申込書は、県社保協ホームページに掲載していますので、メールでお寄せください。<http://kanagawa-shahokyou.jp/>

かながわ社会保障学校2021

コロナ禍の「社会保障」

4月24日(土)

13:30～16:00

(13:00開場)

建設プラザかながわ

2Fホール

+ ZOOM視聴

「自己責任論」を斬る！！

＜学習講演＞

今日の社会保障改革の現状と課題

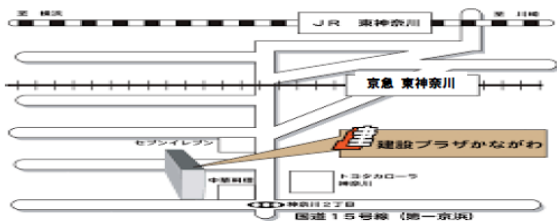
～対立から共同へ～

村田隆史さん

(京都府立大学公共政策学部講師)

＜活動交流＞

県内の生活・営業支援などの取り組み報告と交流



＜主催＞ 神奈川県社会保障推進協議会

☎045-201-3900 FAX:045-212-5745

この一年間、新型コロナウイルスの感染が拡大するも、日本の経済が翻弄され、私たちの生活はさまざまな制約を余儀なくされました。この国の医療と社会保障制度の脆弱性も実感することとなりました。安倍政権から菅政権に変わりました。菅首相は「自助、共助、公助。そして「絆。」と、自己責任を強調します。かながわ社会保障学校 2021 は、新進気鋭の村田隆史さんに「今日の社会保障改革の現状と課題～対立から共同へ～」と題する学習講演をお願いいたします。自己責任論を斬り、私たちの運動の展望を語っていただきます。

別紙「参加申込書」で、会場参加と ZOOM での視聴参加の申し込みをお願いします。

＜4月の主な行動・会議日程＞

- 4月1日(木) 税と社会保障一体改革反対全県一斉宣伝行動(この日を中心に)
- 4月2日(金) 県社保協第10回常幹 14:00 建設プラザ4F 会議室
- 4月7日(水) 中央社保協運営委員会・介護障害部会 10:30 (ZOOM 会議)
- 4月8日(木) 横浜市の障害者移動支援事業についての市議との懇談 10:00
- 4月9日(金) 国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館4F 会議室
県社保協第10回幹事会 14:00 保険医協会会議室
- 4月12日(月) 生存権裁判・大阪地裁と札幌地裁判決学習会 13:00 開港記念会館9号室
- 4月15日(木) 75歳以上の医療費窓口負担2倍化反対全県一斉宣伝行動(14:00 伊勢佐木町有隣堂前)
- 4月18日(日) 茅ヶ崎社保協総会 13:30 茅ヶ崎民商会議室
- 4月21日(水) 神奈川国会行動 10:00 衆議院第二議員会館多目的会議室
- 4月22日(木) 75歳以上の医療費窓口負担2倍化反対集会 12:00 (国会議員会館)
- 4月23日(金) 消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 4月24日(土) かながわ社会保障学校 13:30 建設プラザ2Fホール (ZOOM 視聴併用)
障神奈連第22回総会 13:30 横浜市反町地域ケアプラザ
- 4月26日(月) 神奈川生存権裁判口頭弁論 11:30 横浜地裁
- 5月1日(土) 神奈川県・横浜第92回メーデー 10:30 山下公園・石のステージ